

はまだ 市議会だより

Vol.16

2010年(平成22年)2月1日発行



定数28名体制で新たなスタート

全議員の誓い

『浜田市民が直面する様々な不安を取り除き、安心して生活できる
社会の実現に向け努力してゆくことをここに誓う』

【犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する決議より抜粋】

平成21年9月定例議会・11月臨時議会・12月定例議会

議長・副議長あいさつ	 P 2
議会運営委員会・常任委員会の紹介	 P 3
決議文【犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する決議】	 P 5
個人一般質問	 P 9～13



議長 牛 尾 博 美

11月の臨時議会において議長という大役をいただきました。特に今回、県立女子大生を巻き込む悲惨な事件が発生し、議会は浜田市と一緒にあって市民の皆さんの安全安心を最優先の課題として市民の皆さんのリーダーとして近隣の市議会や広島市議会との交流を進めていきます。

市民一人ひとりが大切にされ夢や希望が語り合える浜田のまちづくりのために市民目線に立つて議員の皆さんと一生懸命取り組んでまいります。



副議長 川 神 裕 司

この度、新たな議会構成が行われ私が副議長として大役を果たすこととなりました。

今まで浜田市議会は内部混乱により市民に大きな不安を与えてしまいました。その反省を踏まえ、より情報公開を推進し市民の視点に立った議会運営を行うために「議会基本条例」の制定等改革を進めてまいります。「安心・安全のまちづくり」の推進、住民の負担軽減等課題は山積ですが、議長を補佐し信頼できる議会を目指してまいります。

平成21年

十

一

月

臨

時

議

会

平成21年11月浜田市議会臨時会は11月4日に招集され、会期を5日までの2日間とし開かれしました。臨時会は、市議会議員選挙が10月18日に施行され、28人の議員が選ばれた後の初めての議会です。本会議では、議長と副議長の選挙、浜田地区広域行政組合議会議員等の選挙を行い、議会運営委員会委員と常任委員会委員の選任を行いました。また、議会広報広聴調査特別委員会の設置を決定しました。市長から提出された、浜田市一般会計補正予算（第4号）と人事関係3件について審査の結果、それぞれ原案のとおり可決、同意をしました。

▼ 議長の選挙について

牛尾博美議員を選出しました。

▼ 副議長の選挙について

川神裕司議員を選出しました。

▼ 議会運営委員会委員の選任について（委員構成は次のとおり）◎委員長◎副委員長

◎大谷弘幸 ◎原田義則

平石 誠 西田清久

山崎 晃 江角敏和

岡田治夫

▼ 常任委員会委員の選任について（委員会及び委員構成は次のとおり）◎委員長◎副委員長

〔総務文教委員会〕

◎平石 誠 ◎江角敏和

岡本正友 佐々木豊治

道下文男 田畑敬二

西田清久 西村 健

岡田治夫

〔福祉環境委員会〕

◎三浦一雄 ◎三浦美穂

芦谷英夫 三浦保法

大谷弘幸 川神裕司

原田義則 中村建二

美浦美樹

〔産業建設委員会〕

◎山崎 晃 ◎新田勝己

笹田 卓 布施賢司

山田義喜 田村友行

濱松三男 牛尾 昭

高見庄平

〔予算審査委員会〕

◎岡田治夫 ◎佐々木豊治

委員は議長を除く27名の議員

▼ 浜田地区広域行政組合議会議員の選挙について

次のとおり選出しました。

笹田 卓、芦谷英夫

西村 健、大谷弘幸

岡田治夫、牛尾 昭

▼ 浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合議会議員の選挙について

次のとおり選出しました。

布施賢司、佐々木豊治

西田清久、川神裕司

濱松三男、中村建二

▼ 農業委員会委員の推薦について

田村友行議員を推薦しました。

▼ 議会広報広聴調査特別委員会

委員の選任について（委員構成は次のとおり）◎委員長◎副委員長

◎佐々木豊治 ◎田畑敬二

笹田 卓 布施賢司

岡本正友 芦谷英夫

三浦美穂 川神裕司

牛尾 昭 美浦美樹

〔予算関係〕

▼ 平成21年度、浜田市一般会計補正予算（第4号）

この補正は、厳しい経済情勢のなか、低迷する景気を刺激し、年末から来春にかけての需要期にむけ、地元消費の拡大を目指す浜田市プレミアム付共通商品券の発行に対する助成を行うためのものです。

プレミアム券部分の一部と

事務費等の経費補助をするものです。

〔人事案件〕

▼ 浜田市教育委員会委員の任命について

平成21年11月18日で任期満了となる同委員の後任として、次のとおり同意しました。

○山田 洋夫さん

（三隅町古市場）⇨再任

○金本 妙子さん

（三隅町古市場）⇨新任

▼ 浜田市監査委員の選任について

議員任期満了となる同委員の後任として、次のとおり同意しました。

○山田 義喜さん

（三隅町芦谷）⇨新任

議員運営委員会・常任委員会の紹介

議会運営委員会

議会運営委員会は「議会運営に関する事項」「議長の諮問に関する事項」等、円滑な議会運営全般について協議する委員会です。昨年10月に改選が行われましたが、これからの4年間市民の皆さんが求められる議会の任務は非常に大きなものがあると認識致しております。

市民の期待に添えるべく、常に市民の目線に立った議会運営を目指して、日々研鑽を重ね、より効率的で分かりやすく透明性の高い議会運営に向け努力する決意であります。

(記 大谷弘幸)



総務文教委員会

厳しい経済状況、不安な社会情勢のなか、安全・安心なまちづくりの推進が強く求められています。

当委員会では、市民の皆様が安全で安心して暮らすことができるよう、防災・防犯対策の更なる強化に努めることはもちろんのこと、将来を担う子どもたちが、ふるさとの温かさを感じながら基礎学力の向上が図れる環境面の充実にも努めてまいります。

全委員会で平均年齢一番の若さをフルに発揮し、アクティブに活動してまいります。

(記 平石 誠)



福祉環境委員会

福祉環境委員会の所管は、市民福祉部及び水道部（公営企業）に属する事項を重点的に審議する委員会です。

一段と低迷する社会状況のなかで『アフレ』が公然と叫ばれている今日、更なる福祉の充実・住民サービスの充実を基本に調査研究を重ねていきます。

今議会から、公営企業に関する調査も管轄となりました。水道未普及地域の解消対策は、定住化はもとより、生活ライフラインの観点から執行部と一丸となつて努力いたします。

(記 三浦一雄)



産業建設委員会

去る11月の市議会臨時議会において産業建設委員長に選任されました。責任の重さを痛感しております。

今回、常任委員会が統合され、産業建設委員会は、農林水産・商工観光・土木建築・都市計画・下水道等を所管する重要な任務を担当します。私たちのふるさと浜田市を

将来にわたり、明るく住みよいまちに発展していくために当委員会では、知恵と力を結集して安全で安心して住めるまちづくりを推進してまいります。

(記 山崎 晃)



予算審査委員会

本委員会は、地財ショックや新たな健全化判断比率の導入、市の55億円財源計画等、厳しい浜田市の行財政運営と国の政権交代による事業仕分けをはじめとした政策制度の転換を受け、これまで以上に、高い見識に立った適正かつ慎重な予算審査が求められています。

市民の血税を含めた貴重な財源を、浜田市の市民福祉の向上と将来の発展のため、有効に活用できるよう、市民の視点に立った委員会議論を尽くしてまいります。

(記 岡田治夫)



浜田市一般会計補正予算を可決しました

浜田市プレミアム共通商品券発行支援事業

事業費 26,637 千円

浜田市の経済対策として、低迷している景気を刺激し、住民の消費意欲の高揚を図るため、浜田商工会議所が発行している浜田市共通商品券に10パーセントのプレミアム券を上乗せしたものを2月と4月に行いました。続いて地域経済が依然として厳しい状況の中、年末から来春にかけての需要期に向け、更に3億3千万円の商品券が発行され、更なる地元消費の拡大、市内商業の活性化が期待されるため、市として引き続き支援するものです。

平成21年 十二月 定例 議会

平成21年12月浜田市議会定例会は11月30日に招集され、12月16日までの17日間の会期で開かれました。市長から提出された条例関係10件、指定管理者の指定6件、財産の取得など3件、補正予算8件、専決処分の承認1件、人事関係3件について審査の結果、それぞれ原案のとおり可決、承認、同意をしました。議会側からは、決議1件、請願3件、陳情2件、意見書2件、選挙2件を提出し、決議と意見書を可決、請願1件と陳情2件を採択、選挙は8名を選出しました。請願2件は、閉会中の継続審査としました。

本会議で審議された 主な議案の内容

〔条例関係〕

▼ 浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

図書館の建設に関する重要な事項を調査審議するため、新たな附属機関を設置することに伴い、浜田市図書館建設検討委員会を同条例の別表に加える等の改正を行うものです。

▼ 浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

▼ 浜田市市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

▼ 浜田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

平成21年の人事院勧告及び島根県人事委員会勧告に基づき、市議会議員や市長等の期末手当の支給月数を、年間0・

25月分減とする改正を行うものです。

▼ 浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について

平成21年の人事院勧告及び島根県人事委員会勧告に基づき、職員の期末勤勉手当の合計支給月数を、平成21年度は0・20月分減、平成22年度は0・25月分減とする等の改正を行うものです。

〔予算関係〕

▼ 平成21年度、浜田市一般会計補正予算（第6号）

国県補助事業において追加や変更を要する事業や9月補正予算後に新たに生じた急を要する事業等について調整を行うもので、歳入歳出それぞれ2億3万3千円を増額するものです。

主な補正は、全国瞬時警報システム整備のための経費、ラ・ペアーレ浜田の運営経費

に対する補助金、地域振興に資する民間事業者の支援を目的とした無利子融資等の事業です。

〔可決した意見書〕

▼ 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

▼ 改正貸金業の早期完全施行等を求める意見書

〔人事案件〕

▼ 浜田市副市長（旭自治区長）の選任について

次のとおり同意しました。
○花本博文さん
（旭町市木）＝再任

▼ 浜田市副市長（三隅自治区長）の選任について

次のとおり同意しました。
○中島良二さん
（三隅町西河内）＝新任

▼ 人権擁護委員候補者の推薦について

平成22年3月31日で任期満了となる同委員の後任として

次のとおり同意しました。

○井川善吉さん
（杉戸町）＝再任

▼ 浜田市選挙管理委員の選挙について

次の者が当選されました。
〔浜田自治区〕
○天野 孝さん（長沢町）
〔金城自治区〕
○宮本文雄さん（金城町久佐）
〔旭自治区〕
○岩倉初喜さん（旭町木田）
〔三隅自治区〕
○矢富俊春さん（三隅町三隅）

▼ 浜田市選挙管理委員補充員の選挙について

次の者が当選されました。
〔弥栄自治区〕
○山代由香さん（弥栄町長安本郷）
〔浜田自治区〕
○瓦田富子さん（元浜町）
〔金城自治区〕
○岡本正博さん（金城町上原）
〔三隅自治区〕
○藤川修司さん（三隅町岡見）

12月議会の冒頭今回の事件を受け、市議会としての決議を行いました 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する決議

本年10月に発生した、県立大学生の死体遺棄事件は、我々浜田市民や県立大学生及び保護者の皆さんにとって大きな悲しみと衝撃を与えた。

明るい希望に満ち浜田市へ来られた 故平岡 都さんに対し、衷心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

このような卑劣な犯行は、とても看過できるものではなく、「安全で安心して暮らすことのできる」まちづくりを目指す浜田市にとっても許しがたい蛮行である。

すでに、浜田市は「犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を制定し取り組みを進めてきたが、今回の事件を契機に、地域における防犯機能の強化並びに地域の安全活動を支える基盤や環境の整備など、一層の推進が求められている。

よって本市議会は、一刻も早い犯人の逮捕はもちろん事件の全容解明を公安当局へ要望するとともに、浜田市民が直面する様々な不安を取り除き、安心して生活できる社会の実現に向け努力してゆくことをここに誓うものである。

以上、決議する。

平成21年11月30日

浜 田 市 議 会

議案質疑

浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

牛尾 昭

検討を加えられ一定のビジョンが形成され、その上でこのようなものが出てくるものと考えていた。医療センターの跡地のビジョン形成について議論があつたのか問う。

建設部長

市内の検討委員会を6月の終わりに立ち上げ、跡地をどのように利用するか、またそれぞれの課からの希望の有無の2点を主な論点に会議を開催した。まずは土地を処分することを、第一に考えることを結論とした。

ただ、27,000㎡という大きな面積なので、3分の1は公共施設用地にすればという結論である。

牛尾 昭

パブリックコメントを求め、あるいは将来どうするか議論が重ねられ、提案されるべきではないか。

次に図書館の検討委員会の設置について伺う。

審議会のメンバーは、ボランティアでも、浜田市の図書館について意見を申し上げたいという方が多くいる。陳情もあつたりして、図書館建設については市民の方に議論を呼んでいる。考えられるメンバーが要となるのはかわらないが、市民のいろんな層の意見を伺うということになれば良いと思う。

生涯学習課長

別の機会を設けながら市民の方々に、専門家の意見を伺ってまいりたい。

浜田市生活路線バス条例の一部を改正する条例について

山田 義喜

説明会の中で主だった意見、状況について伺う。

また、地域の各種の会合とあるが、具体的にどのようなものか。

三俣支所自治振興課長

皆さんの意見は、ひやこるバスの継続運行である。

会合については、地域担当制による地域会議、地区まちづくり推進委員会などである。

山田 義喜
行政連絡員会議でこのような話はあつたのか、また改正した場合の料金収入について伺う。

三俣支所自治振興課長

行政連絡員会議や、自治会連絡協議会でも周知している。料金収入については、現在毎年平均350万円程度で、単純に現行の利用者が継続すれば700万円あまりと試算している。

山田 義喜

この時点で運賃改定するということは、55億円の財源計画があるが、合併をしたから、年数がたつたということでもあるのか伺う。

三俣支所自治振興課長

今回の値上げは次の2点からである。

1点目は他の自治区でデマンドバスが運行されていて、それとの均衡・バランスを図るものである。

2点目はバスの運行を末永く継続してほしいというのが地域住民の願いにあり、そのためにはある程度収入も確保しないといけないことからである。

ラ・ペアーレ浜田 条例の制定について

佐々木豊治

今後広く市民に施設を開放するという意味では、今回、間口を広くしておく必要があるのではないかと思う。その点でこのような休日については、すべて開館すべきと思うが、所見を伺う。

このような赤字が一年間で出た以上、財団の運営について赤字が出ないような市のかかり方が必要と思うが伺う。

今後の修繕費、維持管理費を含めたある程度の中期的な収支の試算を示しておくべきと考えるが伺う。

市民福祉部次長

休館日はこれまでのペアーレの休館日と同様である。これまでのプログラムの組み方とか、施設の利用の仕方を前提として、日曜日を全部開けることについて、現場の職員と話したが、現在のやり方で定着している。日曜日を全て開館するという点については、これから視野に入れて考えていきたいと思う。市のかかり方については、健康づくりとか介護予防に対して施設の活用がもっとできないものか、検討を始めているとこ

ろである。大規模については見直しをつけてはいない。

佐々木豊治

提案を財団にしていきたいながら、より多くの市民のための教室、講座、健康増進のいろんな取り組みをやっていく必要がある。この施設についてある程度ビジョンを持ちながら取り組んでいく必要があると思うが、所見を伺う。以前今回の条例制定の時にコミュニケーションを示していきたいという答弁だった。なぜ、示していないのか伺う。

市民福祉部次長

なるべく早くビジョンを示せるように取り組んで行きたい。健康づくりの事業、介護予防の事業などに、施設の講座・プログラムを活用していただけるよう結び付けを考えていきたい。



西田 清久

休館日について指定管理者の裁量権でどうでもなるもの

か伺う。

市民福祉部次長

条例案において、「指定管理者は必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。」となっている。来年も基本的には、利用の高いときはあらかじめ指定管理者と協議のうえ、日曜日にも開館するなどできると思う。

西田 清久

開館日、休館日について、問題点、休館の要望などそのような意見はなかったか伺う。

市民福祉部次長

引き継ぎの時にはそのような話は伺っていない。職員が利用者に伺うと、日曜日に開ける要望より、むしろ平日の時間帯、曜日など変えないでほしいというものであった。

浜田市放課後児童クラブ
条例の一部を改正する条
例について

道下 文男

土曜日開設を望むところであるが、隔週ということを求める声はいつ頃から出てきたのか、またどのように説明されたのか、さらに県内他市の状況について伺う。

子育て支援課長

保護者からの声は、平成18年

当時の保護者説明のアンケートで、土曜日開設の希望を伺った。アンケートについては隔週設定ではなく、土曜日の利用の開所希望という内容である。その利用頻度について希望を伺ったものだ。

道下 文男

皆さん全週を希望されるのが多い。なぜそのような形にされたのか、再度伺う。

他市は、随分前から全週を取り組んでいるところもある。

子育て支援課長

土曜日の開設にあたり、約4割の方が希望をされていた。放課後児童クラブに関しては、できるだけ、校区に一箇所の開設に向け整備をしてくている。この開所場所についてはかなり充実していると考えている。開所時間の繰上げ、終了時間の繰下げを行ってきている。入所希望の方には希望等に沿うよう、抽選等を行うことなく受け入れを実施している。

道下 文男

出雲市では、全週、隔週いろんな形でやっている。浜田でも取り組みができないものか、再度伺う。

市民福祉部長

月2回それぞれのクラブで開所については検討するとい

うことで、提案している。保護者負担の軽減や5時の閉所時間を6時まで延長したり、夏休み、長期休業中の開所も行ってきている。

浜田市国民宿舎千畳苑条
例の一部を改正する条例
について

中村 建一

なぜ料金を上げるのか。理由について伺う。

観光振興課長

国民宿舎千畳苑を管理している、株式会社MBKオペレーターズは千畳苑以外に国内では3つの公共の宿を管理している。それらの宿は休日前の料金改定が平日の基本料金に対して割り増しがあり、さらにシーズンには割り増し料金を計上するというのが一般的な公共の宿の料金体系となっている。他の施設と同様の料金体系に合わせるものである。

中村 建一

宿泊客が減っているからこで、どうすれば集客できるかを考えることが先行するのではないだろうか。なぜ不景気なのに、値上げをするのか。もっと違った努力をして売上げを伸ばすことを考えることが先決だと思つが、見解を伺う。

観光振興課長

予約受付の方法をホームページを使っての予約の充実をして、それに対しては料金を割り引くことや、広島方面に出かけ実際に平日対応で、ビジネス客をなんとか呼びたいということで、そのようなところに力をいれている。地域の皆様に対しては風呂の利用にあわせ、レストランを使っていたら、割安に使っていただくようなことも、試みている。シーズンということとを考えると天気はかなり影響されることがある。本年度1,000万円近い収入が減額になっているが、今回の料金の見直しについては、ある意味では企業の経営努力ではどうにもならない部分について少し検討を進めていかなければならないということで、人気のあるところであれば、市外からのお客さまについては値上げの影響は少ないのではないかと考えている。

中村 建二

もう少し企業努力をしていただき、努力をされて、なお、だめなら経営に向かないと言われても良いと思う。それくらい気持ちで運営してもらわないと思う。

牛尾 昭

数字を見ると、売上げが落ちている。収益が悪化したから料金を変えて欲しいということ、市は認めるのか。他の指定管理者から同じようなことを言われたら料金を変えるのか。市としてのスタンスが、問われると思う。

観光振興課長

今回の見直しは一番には他の公共施設と同様に休日前あるいはシーズン期間の割り増し料金体系を合わせることにある。管理運営の協定書のなかに、指定管理の期間中に利用料を見直すことにし、特に定めはないが、定めのない事項について、その都度協議のうえ決定することはできることは協議要項の中にある。これによって改正の提案をさせていただくものである。



指定管理者の指定について (浜田市三隅B&G海洋センター)

笹田 卓

B & G 海洋センターの海に対する安全面について伺う。

三隅教育分室長

イベント、行事の前には天気予報に注意しており、1日2日前には風向風速をみながら、行事、イベントがその日に開催されるかというのを、注意深く見守っている。その他にライフジャケットの着用、AEDの準備、スタッフの配置など行い、安全管理に十分注意する。

笹田 卓

行事の途中に起きた事故に対してライフジャケットの着用は勿論であるが、安全対策について再度伺う。

三隅教育分室長

スタッフを充実させ、見張りも十分に徹底させていききたいと思う。すぐにB & Gのモーターボート等で救助に行くような体制を整えていきたい。

指定管理者の指定について (浜田市三隅中央公園及び 田の浦公園運動施設)

中村 建二

田の浦公園だけでなく、浜田市が抱えている公園すべて、また県が抱えている海浜公園などがあるが、指定管理者に管理をやってもらうにしても、そのままの状態でもらうのか、遊具が使えて子どもたちが安全に遊べるような公園にするのか、所見を伺う。

壊れた遊具については使えるように直していかなくてはいいけないと思っている。現地を把握し、要望があれば、要望のある遊具の設置に向け検討したい。

建設部長

いつ来られても大丈夫というのが、公園である。年配の方々、ボランティアもおられる。機械の修理とかで、得意な方もおられると思う。そういった方を募ってみるとか、公園の点検をするとかこれも行政として考えていただきたい。是非、海浜公園については確認していただきたい。

中村 建二

公園の点検等は順次行っている。不具合が出たときは、すぐに直すようにしている。海浜公園については、県に要望してまいりたい。

建設部長

指定管理者から、要望意見などあるかと思う。野球場の得点表示板は、かなり腐食している。使用者も大変使いにくい。もう少し補修してほしいという声が市に届いているか伺う。

美浦 美樹

三隅文所建設課長

腐食しており、指定管理者、利用者から要望はある。施設が合併して、全体計画の中で改修計画であり、声はしっかり伺っている。

三隅文所建設課長

美浦 美樹
対応を考えていただきたい。

岡田 治夫

指定管理料はどのような積算根拠のもと、積み上げをして、その金額の妥当性を出したのか。また契約についてはできるだけ、3社・2社・指定となっているが、添付資料をつけていただかないと、十分な審議ができない。また管理形態についてさらに効率的にできる可能性があるのか、検証されているのか伺う。

建設部長

積算根拠については今後説明資料を作る中で検討し、よりわかりやすいものというように研究していきたい。それぞれの施設を管理している部署ごとに、選定の方法、施設の目的、果たす役割を考慮しながら期間については検討してまいりたい。

新型インフルエンザ 予防接種事業

事業費 65,934 千円

新型インフルエンザ予防接種優先接種対象者のうち、低所得世帯等を対象に接種費用の免除をおこなうものです。

国の補助事業対象である生活保護世帯、市民税非課税世帯に属する人に加え、市独自に妊婦、1歳～就学前の幼児、小学校1年生から3年生までの児童についても接種費用の全額を免除するものです。

(承認)

浜田市国民宿舎千畳苑条例の 一部を改正する条例

国民宿舎千畳苑の利用料金について、他の同様な施設の料金体系と同様な体系に見直すものです。

- 宿泊料金の基本料金の値下げ (300 円)
- シーズン割り増し料金の見直し (500 円の増額)
- 休前日割増料金 (500 円の加算) の新設
- オーシャンビュー割増料金 (海に面した部屋は 500 円の加算) の新設

(全会一致 原案可決)

浜田市生活路線バス条例の 一部を改正する条例

他の自治区で運行している生活路線バスやデマンドバスとの運賃の均衡を図るため、「55 億円財源計画」の実施に併せ、三隅自治区を走る三隅路線 (ひゃこるバス) の運賃の改定を行うことに伴い改正するものです。1 回当りの使用料の額を 100 円から 200 円に改めるものです。

(全会一致 原案可決)

ラ・ペアーレ浜田条例

市民の健康づくりや生きがいづくりを支援し、市民の福祉の向上に資することを目的とする公の施設を設置することから、ラ・ペアーレ浜田の設置及び管理に関する事項を定めるため条例を制定するものです。

(全会一致 原案可決)

浜田市放課後児童クラブ条例の 一部を改正する条例

保護者からの要望等に加え、放課後児童クラブの開所日を拡大するための改正です。

改正の内容は休所日の変更で、これまで休日であった土曜日を月 2 回開くというものです。またそれに伴う負担金の規定の変更をするものです。

(賛成多数 原案可決)

指定管理者の指定について

施 設	指定管理者
浜田市金城総合運動公園	共同事業体 浜田 B & F 代表者 浜田ビルメンテナンス株式会社
浜田市今福スポーツ広場施設	共同事業体 浜田 B & F 代表者 浜田ビルメンテナンス株式会社
浜田市三隅 B & G 海洋センター	財団法人 三隅町教育文化振興財団
浜田市やさかやすらぎの家	社会福祉法人 弥栄福祉会
浜田市三隅中央運動公園及び 田の浦公園運動施設	財団法人 三隅町教育文化振興財団
浜田市岡見スポーツセンター	財団法人 三隅町教育文化振興財団

個人一般質問

12月議会では、12月1日(火)から3日(木)まで17名の議員が質問をしました。

江角 敏和



市営住宅整備の基本方針と今後の整備について

年度・1千3百10戸としている。

① 『浜田市住宅マスタープラン(基本計画・19年3月策定)』の変更予定と必要戸数の算出根拠を伺う。

② 次期整備予定の再生団地名と整備スケジュールを伺う。

答 弁

① 変更をもたらすような社会状況にはない。算出根拠は将来の人口及び世帯数を推計し、必要となる供給戸数を、22年度・1千3百60戸、27

② 用途廃止(熱田・長浜・城ヶ平住宅)による集約建替えの新規団地、仮称『西住宅団地(ハーバーヒルズ長浜内)』で、現在の計画では、23年度から24年度で、基本の実施計画を作成し、26年度にかけて建設、27年度から入居開始としている。

その他の質問

市長選挙の自己評価と新政権へのスタンスについて

牛尾 昭



安全で安心な市民生活の堅持 水産業の振興

質 問

① 県大生が残忍な事件に巻き込まれ命を絶たれてしまったが、二度と事件が起きないために抑止力として防犯カメラ設置や、全市民スクラムを組んで募金を募り懸賞金をかけて逮捕協力してはどうか。

② 約2万人が従事している漁業振興は、造船事業に25年程度の資金が必要と思うし、加工業は第一次産業と指定し手厚い支援が必要と思うがいかがか。

答 弁

① 防犯カメラは、通学路で検討中ですが、直ちに防犯協会に計って検討したい。

② 造船事業は30年位必要だし、加工業も関係者と相談し是非支援したい。

その他の質問

① ごみ袋使用期限延長問題
② C型肝炎支援対策問題
③ 須津地区の環境対策問題
④ 大都市圏のブランド戦略

田畑 敬二



福祉環境の整備について

質 問

① 市内に於ける介護施設の増床計画があるか伺う。

② 県外の施設へ入所したという声を多く聞くが、施設への入所を希望されている待機者は何人位いるか、またホテルコストはどのくらいか伺う。

答 弁

① 23年までに特老施設80床・老健施設50床・グループホーム40床・特定介護施設100床の計270床の増床計画で

ある。10月末現在、特老施設60床・老健施設50床・グループホーム40床・特定介護施設100床が確定している。

② 特養への待機者は1月1日現在368人である。ホテルコストは標準で月額約9万5千円位である。

※介護区分介護認定4及び5の方々が1,132人。

その他の質問

① 災害時指定避難所について
② 緊急車両の走行時の道路整備

平石 誠

耕作放棄地について

質 問

① 年々増えつつある耕作放棄地についての現状認識について問う。

② 耕作放棄地に対する支援策等、将来像について問う。

答 弁

① 平成20年12月現在、農用地面積3,024万haのうち、耕作放棄地（農地利用可能なもの）は71万haで、全体の2・35%である。中山間地域に集中している状況である。

② 本年1月に設立した「浜田市耕作放棄地対策協議会」を中心に耕作放棄地再生利用推進事業に取り組んでいる。中山間地域直接支払制度や、イノシシ等有害鳥獣対策などにより、農業用施設の長寿命化を図り、拡大傾向にある耕作放棄地の解消のため、多様な担い手を育成していく。

その他の質問

① 図書館建設について

② ラ・ペアーレ浜田について

佐々木 豊治

子どもとメディア問題について

質 問

① メディアとよばれるテレビ・ビデオ・テレビゲーム・パソコン・ケータイなどの電子映像機器の発達で、子どもたちにとってどのような影響を与えているのか、その認識を問う。

② 子どもたちへのメディア対策の一環として「ノーテレビ・ノーゲーム」の運動推進を提案するがどうか。

答 弁

① 何の制約もなくメディアを活用

することにより、体調不良や体力不足、幼児期には言語発達にも問題が生じ、精神面にも共感性の不足やコミュニケーション不足等の悪影響を与えるとの認識している。

② 旭中学校区での取り組みを参考に、他の校区への広がり働きかけていく。

その他の質問

① 学校司書配置事業の現状と今後の取り組みについて

② 保育料の減免について

原田 義則

過疎地域対策（過疎法）の継続について

質 問

過疎地域の著しい人口減少による地域社会の崩壊を防ぎ住民生活を確保するため、これまでこの過疎法により生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げてきたと認識しており、この法律も今年度末で失効する事になっている。今後継続されるのかどうか伺う。

答 弁

全国知事会や全国市長会、全国過

疎地域自立促進連盟といった団体がポスト過疎法の制定に向けた活動をしてきたところである。その結果、現行法の単純延長でなく、医師確保対策や人材育成、生活交通確保や集落活性化対策などのソフト事業も対象にする方向で継続について検討されている。

その他の質問

旧浜田医療センター跡地利用と建物等の解体について

新田 勝己

政権交代と市政運営について

質 問

総選挙で自公政権から民主党政権に移行した。背景に急増した非正規労働者が惨たんたる生活を強いられ世界的大不況で街頭に放り出された。自治体は国政に連動する。新政権の全体像が見えない中での政権交代における市政運営の考え方を問う。

答 弁

新政権の取組みを期待し評価しているが一方ダムや高速道路の凍結

事業費の縮減で山陰自動車道・矢原川ダムについては遺憾である。政策転換が、市民生活に影響しないよう守り、ただすべきものを国に働きかける。今後も十分に国の動向や影響の把握に努め、県や市長会と連携して積極的に働きかける。

その他の質問

① 緊急雇用対策について

② 格差社会を反映した貧困率への取組みについて

川神裕司



学校給食の抱える課題について

質問

① 学校給食における地産地消はどのような状況か伺う。
② 給食費滞納問題に対する取り組みについて伺う。
③ 学校給食統合計画について自治区より不満の声が出ている。計画推進上、地元住民の合意形成は不可欠である。このような状況でも、H23年度から施設統合を行うのか所見を伺う。

答弁

① 米は地元産100%であるが、副食における地場産農作物の利用率をさらに高めるよう努める。
② 累積滞納額は約400万円。文書・電話での督促、PTA総会での周知・管理職等の訪問により対処している。
③ 財源確保のため、施設統合等の改革は不可欠である。しかし各自地区の住民の合意形成が取れなくては延期も視野に入れる必要がある。

西田清久



交流とまちづくりについて

質問

① 合併後の学校間交流について、現状認識を問う。
② 各公民館の交流・連携について問う。
③ 石州和紙の浜田市と筆のまち広島県熊野町との交流を推進してはどうか問う。
④ 浜田市の各市人会に対しての今後の関係構築の考えを伺う。

答弁

① 小学校では学校間交流事業で外

国語活動や、球技、陸上、体操大会を行っている。中学校ではスポーツ交流の他、弁論大会、英語キャンプ等、全体で音楽祭を行っている。

② 来年2月に浜田で開催される島根県公民館連絡協議会の西部研究集会を通して活動の更なる飛躍を目指す。
③ 非常に大事、早速推進に向けて動きたい。
④ 総会に積極的に参加しネットワークの構築を図る。

笹田卓



これからの浜田の海について

質問

浜田の漁業の現状と未来について、これから一本釣漁師（漁業後継者）を育てるために必要な事を伺う。

答弁

職員が各地区のベテラン漁師と膝をつき合わせて「若い漁業者の育成にはベテラン漁師の技術と知識が必要なので力を貸してほしい」と熱意を持ってお願いに伺う。

質問

浜田に民・官が共に力を合わせた水難（海難）救助隊を組織し、水上バイクの後に救助道具を装備した世界最先端の救助艇を用い、さらに本部を瀬戸ヶ島を守る事ができないか伺う。

答弁

諸課題を解決すれば可能だと考える。瀬戸ヶ島利用も大きな問題だと認識しており、それを踏まえて考える。

道下文男



浜田市の活性化について

質問

① 鳩山新内閣での、浜田市の財政健全化対策を問う。
② 農林水、及び地場産業での定住雇用促進について問う。
③ 生活環境の悪化に市民が苦しんでいる。市民の目線で市民の要望にすばやく応える窓口の開設を求めるが如何か。

答弁

④ 地域で防犯灯設置に対する認識の差があり、まちづくりを危惧するが考えを問う。

① 市財政への影響は必至である。22年度予算編成には可能な限り新政府の政策を市予算に反映するよう努める。

② 重要課題と認識しており、3年間で5億円投資の市単独事業等で現在取り組んでいる。
③ 行革推進本部行政機構部会において前向きに検討する。

④ 防犯灯は、安全安心のまちづくりに欠かせないものであり、市民の防犯意識の高揚と増設への啓発に取り組む。

あしたにひでお
荻谷 英夫

市政の主権の確立と 自治の推進について



質 問

地域主権の考え方、住民自治組織づくり、支援について伺う。

答 弁

地域主権の確立をマニフェストに掲げた民主党政権が誕生した。住民に身近な地方自治体により地域の実情に応じた施策や住民サービスを推進し、主体性のあるまちづくりが図られるよう、国に対して積極的に働きかけ、地域主権の確立に向けた取

り組みを進める。住民ができることは住民自らの手で行うとの考えで、公民館単位での地区まちづくり委員会を立ち上げたい。地域づくり振興事業などで支援するとともに、新しい機構は機構改革の中で検討したい。

その他の質問

県立大学生死体遺棄事件を受け、安全安心市民の誓いや安全安心宣言を行う考えは

ふせけんじ
布施 賢司

浜田川の防災について



質 問

① 浜田第二ダム完成までの下流部断面の安全性と河川浄化について問う。
② これからの下流における防災計画について問う。

答 弁

③ 浜田医療センターの周辺道路の「命の道」確保を問う。
① ダム下流は川幅の拡幅が困難であるため、現浜田ダムの日雨量268ミリのままのダム調整による流下させる断面で対

応しており、浜田川ランプから黒川大橋までの河川浄化を今年度中に実施する。

② ダム完成時には下流での冠水の危険性は低くなり、段階的に側溝整備や排水路整備を行い、排水対策に努める。

③ 進入路は、高い位置の場所で整備しており、センター駐車場を一時的な調整池の機能させる構造としている。

その他の質問

① 観光振興について
② 職員の接客待遇について

おかもとまさとも
岡本 正友

浜田市における自殺者について



質 問

① 11月発表の全国の自殺者から浜田市の数年の自殺者はどのくらいあるかを問う。

② その原因と対応策はされているかを問う。

③ 残された家族の生活他の支援はされているかを問う。

答 弁

① 平成18年は23人、平成19年は21人で、平成20年は28人、過去10年間

の年間自殺者の平均は24人である。

② 自殺の原因は健康問題や事業不振などがあげられる。浜田市では現状を踏まえ自殺予防対策を実施検討。対策として実態把握、意識調査実施、相談窓口の充実・強化、生きがい対策の推進、拡充を図る。

③ 個人の問題ではなく、社会の問題として、地域の特性に応じた実効性の高い施策を推進して行く必要があると認識。家族の支援として生活相談など対応している。

みうらやすのり
三浦 保法

飲料水の安定確保について



質 問

当市の中山間地域において、上水道や簡易水道の整備や拡張計画がなく、飲料水が確保されていない高齢者だけの家庭が多くある。住民が安心して生活していくため、安全な飲料水の確保は最低必要と思うが、施策について問う。

答 弁

飲料水の確保は住居の前提条件として重要であることから上水道や簡

易水道のない地域については島根県の事業で旧浜田市、那賀郡の239世帯に対し井戸の補助を実施してきた。基本的には飲料水の確保はできていると判断しているが、住民から事業の要望があれば応えていきたい。

また、三隅自治区内でヒ素が検出されているため、平成22・23年度の2カ年で井川地区において、給水18世帯、人口65人を対象に簡易水道拡張事業を計画している。

西村 健

学校給食センターの 統合計画について

質 問

学校給食センター統合計画の説明会では、市民からどんな意見・質問があつたのか。また、合意は得られたのか。

答 弁

「作る人の顔が見えなくなる」「保温が心配」「給食の質が落ちるのでは」という不安の声や、地産地消・食育などに関する意見や質問をいただいた。合意は得られていないと考えている。

質 問

センター統合は、食育推進の大きな阻害要因となるのではないか。市民合意が得られなければ統合を断念することもありうるのか。

答 弁

阻害要因となる可能性は否定できない。作る人と食べる人のつながりを体感できる施策により、解消に努める。市民合意が得られなければ統合断念もありうる。

岡田 治夫

浜田市の農地保全等の 現状と課題・対策について

質 問

① 浜田市の農地保全の課題と耕作放棄地解消対策を問う。
② 多様な草刈組織の拡充、育成及び支援計画の策定についての所見を問う。

答 弁

① 高齢化、過疎化等により農地の適切な保全管理が困難な状況である。中山間地域等直接支払制度、農地・水・環境保全向上対策事業、耕作放棄地再生利用推進事業を活用し、耕

作放棄地の解消に取り組む。

② 地域リーダーの掘り起こし、集落営農の新たな組織化や、既存組織の法人化を通じ、農地保全に努める。草刈組織単独の支援計画は今のところ特に無い。

その他の質問

① 高校・大学・専門学校等の就職内定状況について
② 平成22年度の予算編成および、今後の国の事業仕分けによる影響について

平成21年

九月定例議会

平成21年9月浜田市議会定例会は8月31日に招集され、9月18日までの19日間の会期で開かれました。市長から提出された条例関係14件、財産の取得など3件、補正予算6件、人事関係7件について審査の結果、それぞれ原案のとおり可決、同意をしました。また、平成20年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定など認定案件15件については、11名の委員で構成する決算特別委員会を設置し、9月10日から16日まで同委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、いずれも認定としました。

決算特別委員会委員長報告（抜粋）

○平成20年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について、次の五つの意見を付し全会一致で認定すべきものと決しました。

1 職員の意識向上と人事評価制度の確立及び給与体系の見直しについて

職員が、市民全体の奉仕者としての自覚と責任感を持ち、自らの業務に誇りを持って遂行できるような組織風土を構築されたい。

現行の給与体系の問題点の開示などを行うことで市民への説明責任を果たし、職員の熱意、能力、職責及び仕事の成果が反映される人事評価制度と給与体系を早急に確立されたい。

昇任試験制度の導入や、職員採用時の年齢制限の撤廃に取り組まれたい。

2 滞納者を増やさないための収納対策の強化について

市税のみならず保育料、住宅使用料、給食費等の滞納がさらに減少するよう、現年分の滞納に対する対応の精度を高め、県や関係各課との連携を強化するなど、収納率の向上につながる徴収方法について検討し、不納欠損や収入未済額の減少に努められたい。

各種減免制度について広く市民に周知し、生活困窮による滞納者からの減免相談に速やかに応じられるよう対策を講じられたい。

3 第三セクター及び指定管理者との関わり方について

経営改善については、県立大学の教授等外部の人材によって計画や目標に対しての進捗状況の確認などを導入して経営改善計画を策定し、地域住民のための有益な施設となるよう努められたい。

浜田市のこれら事業体の経営への関わり方、指定管理のあり方についての方針を明確にされたい。

4 情報の共有化の仕組み作りと人材育成について

仕事を通じて必要な知識や技術、取り組み姿勢を計画的かつ継続的に訓練するなどの人材育成に積極的に取り組み、管理職は部下に対してマネジメント能力を存分に発揮し、チーム力を高める努力に全力投球されたい。

5 監査機能の発展と充実について

先進自治体においては、財務監査にとどまらず、組織の活性化や人事評価と人材育成、事務事業の見直し等、適法性と効率性の観点から監査機能の充実を図るうとしている。浜田市の監査においても、明確な意思を持ち、さらなる監査機能の発展と充実に取り組みされたい。

○平成20年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、次の意見を付し全会一致で認定すべきものと決しました。

国民健康保険の資格証明書

については、15歳以下の子どもがいる世帯等には交付しないとする国の方針が示される中、浜田市が被保険者との接触に努力し、資格証明書交付の減少に努めていることは、評価するものである。

しかし、交付事例の多くが連絡のつかない世帯である事実は、国民皆保険制度のもと、看過できないことであり、交付にあたっては、国が示す趣旨に沿うよう事務処理の見直しを検討されたい。

○平成20年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、次の意見を付し全会一致で認定すべきものと決しました。

浜田処理区及び周布処理区の下水道整備にあたっては、多額の費用と長い期間を要し、財政的にも困難が予想されるところである。

早期接続に向け市民に対する積極的な啓発活動を行うとともに、公共下水道計画と合併浄化槽施設計画の全体像を明確にした下水道整備計画の策定に着手し、速やかに市民に分かりやすい整備方針を公表されたい。

○平成20年度浜田市水道事業会計決算認定について、次の意見を付し全会一致で認定すべきものと決しました。

今後予定されている簡易水道との合併による大幅な水道料金の値上げが市民の間で不安視されている。

引き続き組織のスリム化、固定費の削減に向け明確な方針を立て、経営の健全化を図るとともに、市民の信頼と理解を得られるよう積極的に情報公開に努められたい。

◎決算特別委員会の委員は、次のとおりです。

委員長 澁谷幹雄
副委員長 三浦美穂
委員 道下文男、平石 誠、田村友行、西村 健、川神裕司、吉田千昭、向 惇雄、江口修吾、美浦美樹



〔人事案件〕

▼ 浜田市監査委員の選任について

平成21年11月17日で任期満了となる同委員の後任として、次のとおり同意しました。

○水野文雄さん
(河内町) 〓再任

▼ 浜田市公平委員会委員の選任について

平成21年11月17日で任期満了となる同委員の後任として、次のとおり同意しました。

○吉田 稔さん
(朝日町) 〓再任

▼ 人権擁護委員候補者の推薦について

平成21年12月31日で任期満了となる同委員の後任として、次のとおり同意しました。

○室崎武子さん
(金城町上米原) 〓再任

○齋藤繁美さん
(弥栄町木都賀) 〓再任

○河野恒弘さん
(宇野町) 〓再任

○石田啓真さん
(下府町) 〓再任

○村井 勉さん
(日脚町) 〓新任

あとかぎ

議会広報広聴調査特別委員会

当委員会は、議会広報の発行と広聴のあり方に関する事項の調査研究を行うことを目的として設置しています。改選前の委員会では2年間、とくに広聴の実施に向けて、先進地の視察や調査・研究を行い、取り組みに際しての委員の意見集約や問題点などの議論に多くの時間を費やした。昨年、中間報告が示されました。今回委員構成も刷新され、調査・研究をするなかで、当委員会のさらなる充実と全力で取り組んでまいります。

(記 佐々木豊治)



〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上、送信ください)
E-mail アドレス: chairman@city.hamada.shimane.jp